



平成27年度 文化資料館特別展

茅ヶ崎の海岸のいきものたち

茅ヶ崎市教育委員会

ごあいさつ

茅ヶ崎市の地理的な特徴の一つは、相模湾に面していることです。海岸部では、その環境に適した動植物が生息・生育しています。

茅ヶ崎市文化資料館では、市民ボランティアと協力し、現在の茅ヶ崎の海岸にはどのような動植物が生息・生育しているのかを記録するために、2012(平成24)年から約3年間をかけて海岸の動植物の分布調査を行いました。

本展では、約3年間にわたる調査をとおして得られたデータをもとに、茅ヶ崎の海岸のいきものについて、動植物の標本や写真を中心に紹介いたします。

なお、展示しております標本資料や写真資料は、多くの市民の皆様にご協力をいただき収集したものです。海岸調査及び資料収集にご協力いただきました市民の皆様へ深く御礼申し上げます。

平成28年2月

茅ヶ崎市教育委員会

本展は、文化資料館の市民ボランティアのみなさまと行った調査結果をもとに、構成しております。

【調査範囲】 茅ヶ崎市の海岸線約6km
海岸側から砂防林の隣接部まで

【調査期間】

2012年 予備調査

2013～2014年 本調査

2015年 補充調査

海岸の気候

茅ヶ崎の海岸は、海岸特有の温暖な気候です。

気温は、最も寒い1～2月と、最も暖かい7～8月の気温の差が約20℃であり、県内でも寒い時期と暖かい時期の差が最も小さい地域の一つです。

風は、1年をとおして相模湾から吹き上げてくる南の風が多く、砂丘を形成する要因となっています。

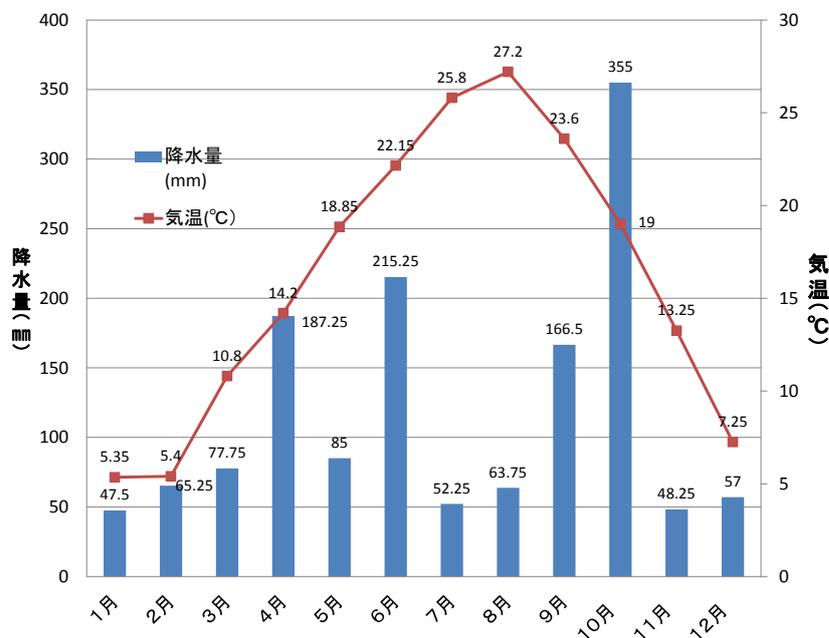


図 茅ヶ崎市の降水量と気温の変化（平成25～26年の平均）
（茅ヶ崎市統計データから）

海岸養浜

参考文献：神奈川県(2011) 相模湾沿岸海岸侵食対策計画。
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f160298/>

茅ヶ崎の海岸は、以前は砂丘が広がる海岸でしたが、河川からの土砂供給の減少により、1954年を基準として1985年までに、海岸部の菱沼地区・柳島地区で約40m、中海岸地区で約60m海岸線が後退しました。1985年から2007年ではヘッドランド、茅ヶ崎漁港西側が前進しているのを除き、砂浜が後退した状態になっています。

このため、護岸崩壊の恐れや、海岸利用への影響が生じました。また、海浜を生息基盤とする海浜植物の生育環境も変化しました。これらの対策として、茅ヶ崎海岸部（柳島地区）では、構造物と土砂を用いた養浜による砂浜回復の試みがなされています。

現在、養浜整備として柳島地区、中海岸地区（相模川水系の土砂）・菱沼地区（飛砂）において土砂を供給し砂浜維持が行なわれています。



海岸部（中海岸地区）



サイクリングロード（中海岸地区）

海岸の地形・地質

茅ヶ崎の地形は、北部の丘陵地(きゅうりょうち)と相模川や小出川周辺の沖積低地(ちゅうせきていち)(河川によって運ばれた土砂等が堆積したところ)、丘陵地から海岸までの間に広がる砂丘地(さきゅうち)の3つに分けられます。

北部の丘陵地から海岸までは、約4 kmにわたり砂丘が広がっています。また、柳島の西側地域の一部は、沖積低地が関東大震災によって隆起したところがあります。

海岸の植物

海岸周辺部には、海水や砂の移動等の海浜環境に適応した、海浜性・海岸性の植物が生育しています。また、砂防林の整備によるクロマツや海岸性植物の植栽が行われています。

近年、茅ヶ崎の海岸は、河川からの土砂の供給の減少がおよぼす海岸侵食により砂浜が後退しており、砂の搬入などの整備が行われています。そのため、波打ち際に近いところは侵食や整備工事による海浜環境の変化が大きく、海浜性・海岸性植物の生育環境が短期間に変化しています。

今回、茅ヶ崎の海岸全域の踏査を行い維管束植物の調査を行った結果、計186種が確認されました。海浜草地の植物としては、ツルナ、ハマヒルガオやコウボウシバ、コウボウムギなどが全域にわたり確認されました。

砂浜が広がる汐見台やヘッドランド周辺部、茅ヶ崎漁港周辺の海岸ではコウボウシバやハマヒルガオなどの海浜植物の群落が見られます。これらの植物は海岸の砂の移動に適応するために砂の下に地下茎をのばしています。これらを掘り起こしてみると、ハマヒルガオの地下茎は約5mつながっている事が確認されました。



ハマヒルガオ(手前)とコウボウムギ



ハマニガナ

相模湾に面している茅ヶ崎では、古くは縄文時代から海のいきものたちを獲っていました。江戸時代以降、小和田・茅ヶ崎・柳島といった地域を中心に、漁業を行っていました。

地引網でイワシやシコ（カタクチイワシ）を、定置網でブリを、巻網でスズキなどを、釣でアジ・サバ・カツオを獲っていました。また、柳島や平太夫新田では川漁が行われていました。

オキアガリ

漁を終えると、ヒキコは網元の家に寄って、夏ならばナスやキュウリと捕れた小魚を酢の物にして、酒を飲みながら休みました。これを「オキアガリ」といいます。網元の男の人は、昼食後一眠りして、午後3時頃再び海岸に行き、昼前干した網をしまいながら、翌日の支度をします。午後4時頃には夕食をとり寝てしまい、明日の早朝の漁に備えました。

漁師の一日

一日の始まり

網元の一日は午前1時前に始まります。海岸に行き、天候、風向き、潮の流れ具合等を確認、網を張る場所を決め、船を出して沖で待ちます。午前2時過ぎには、網元の年寄りや女の人、子どもが、漁が始めるのを、「ハマダヨー」といいながら地引網を引くヒキコの人々の家の戸をたたき、知らせてまわります。これを「ハマフレ」といいます。引く準備ができると、明るくなる頃、浜では麦わらに火をつけて振り、それを合図に、沖の船は網を降ろしながら海岸に着け、ヒキコは網を引き始めます。網を上げ終わると2度目の網を入れるため、上げた網を船に乗せて沖に出ます。こうして午前中で3回から5回、網を引きます。

弁当と飲み水

朝食は、ヒキコの家の人々がメンツウという容れ物等に弁当を詰め、網元の女の人が、それを持って海岸に行きました。飲み水は、海岸近くの別荘からもらい樽で運んだり、海に注ぐ小川の水を飲んだりしました。通常、漁は午前で終わりますが、大漁で午後も続けるときは、若い者がヒキコの家で昼の弁当を作るように言いながら網元まで帰り、網元の弁当が用意できると、ヒキコの家で弁当を受け取りながら海岸に戻りました。弁当は、麦飯にアジ等の干物や塩鮭を焼いたものでした。

メンツウと網製の袋



漂着物

海が荒れたあとなどに、海岸には、波の運んできた漂着物が流れ着きます。

海藻類や貝類は、それぞれの生息している場所があり、どのような生育生息環境から流れてきたのかを推測する事ができます。海岸の漂着物を調査した結果、貝類は約 80 種、海藻類は約 30 種確認する事ができました。

また、冬季に海が荒れたあとには貝類の漂着が多くなり、サクラガイの仲間のカバザクラなどが打ちあがっているのを多く見ることができます。



打上げられた海藻（カジメ）



カバザクラ

海岸の甲殻類

砂浜が広がったヘッドランド周辺、漁港や柳島海岸の周辺にはスナガニなどが掘った巣穴が見られます。また、波打ち際から海中にはキンセンガニ、岩礁や構造物にはイソガニやフナムシ、海に近い陸部にはアカテガニなど陸生のカニが生息しています。

茅ヶ崎漁港西側の砂浜で、スナガニ等の巣穴を調査した結果、密度が高い所では 1m×1m の範囲で 3 個程度の巣穴が確認されました。巣穴の型取りをしたところ、巣穴の深さは最大 40cm ありました。



キンセンガニ



スナガニ

海岸の野鳥

海辺には、砂浜や水域を利用する野鳥が見られます。シギやチドリの仲間は波打ち際や干潟に生息し、砂や泥の中のゴカイやカニ、砂や泥の表面の有機物を食物としています。

海面には魚類を食物とするカンムリカイツブリが見られます。また、上空には雑食のトビが飛翔し、まれにミサゴも見られます。調査では約 30 種の鳥類を確認する事ができました。



トビ



カンムリカイツブリ



ハマシギ

海岸の昆虫

砂浜には、打ち上げられたゴミや海藻に海岸性のハエの仲間、ゴミムシの仲間、エンマムシの仲間等が生息し、砂地には地表面を歩く昆虫を捕食するウスバカゲロウの幼虫（アリジゴク）の仲間が生息しています。また、海岸のハマボウフウやアシタバといった海浜性のセリ科植物が生育しているところには、セリ科植物を食草とするキアゲハの幼虫が見られます。



キアゲハの幼虫

地域の「自然」を記録し保存する

地域の自然環境は、時代の移り変わりとともに変化しています。

本展では、約3年間にわたる海岸部調査の結果をもとに、当館で収蔵している茅ヶ崎の海岸の動植物に関する資料を中心に紹介しました。このような地域の自然環境を伝えてくれる資料は、地域の現在・過去・未来を考える上で欠かすことのできない貴重なものです。

文化資料館では、地域の「自然」を記録し、保存し、次世代に伝えるため、今後も市民の皆様と協力した博物館活動を展開してまいります。



平成27年度 文化資料館特別展「茅ヶ崎の海岸のいきものたち」

主催 茅ヶ崎市教育委員会

茅ヶ崎市文化資料館（担当：馬谷原、須藤）

発行 平成28（2016）年2月

http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/bunka_rekishi/bunkashiryokan/shiryokan@city.chigasaki.kanagawa.jp

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

展示ブロック順	科名	種名	学名
1	海岸植物	セリ科	ハマボウフウ <i>Glehnia littoralis</i>
2		ヒルガオ科	ハマヒルガオ <i>Calystegia soldanella</i>
3		キク科	ハマニガナ <i>Ixeris repens</i>
4		カヤツリグサ科	コウボウシバ <i>Carex pumila</i>
5		カヤツリグサ科	コウボウムギ <i>Carex kobomugi</i>
6		イネ科	ギョウギシバ <i>Cynodon dactylon</i>
7		マメ科	ハマエンドウ <i>Lathyrus japonicus</i>
8		アブラナ科	ハマダイコン <i>Raphanus sativus</i> f. <i>raphanistroides</i>
9		ラン科	ハマカキラン <i>Epipactis papillosa</i> var. <i>sayekiana</i>
10		バラ科	マルバシャリンバイ <i>Rhaphiolepis indica</i> var. <i>umbellata</i>
11		バラ科	デリハノイバラ <i>Rosa luciae</i> Rochebr
12		トベラ科	トベラ <i>Pittosporum tobira</i>
13		クマツツラ科	ハマゴウ <i>Vitex rotundifolia</i>
14		ツルナ科	ツルナ <i>Tetragonia tetragonoides</i>
15		セリ科	アシタバ <i>Angelica keiskei</i>
16		アカネ科	オオフタバムグラ <i>Diodia teres</i>
17		ネナシカズラ科	アメリカネナシカズラ <i>Cuscuta campestris</i>
18		イネ科	フシゲチガヤ <i>Imperata cylindrica</i>
19		アカザ科	マルバアカザ <i>Chenopodium acuminatum</i>
20		ツツラフジ科	アオツツラフジ <i>Cocculus trilobus</i>
21		グミ科	アキグミ <i>Elaeagnus umbellata</i> var. <i>umbellata</i>
22		クワ科	イヌビワ <i>Ficus erecta</i>
23		マツ科	クロマツ <i>Pinus thunbergii</i>
24		ナデシコ科	マンテマ <i>Silene gallica</i> var. <i>quinquevulnera</i>
25		アブラナ科	マメグンバイナズナ <i>Brassica juncea</i>
26		ニシキギ科	ツルオオバマサキ <i>Euonymus japonicus</i> f. <i>radicifer</i>
27		キク科	セイタカアワダチソウ <i>Solidago altissima</i>
28	海藻	アオサ科	ヤブレグサ <i>Umbraulva japonica</i>
29		ミル科	ミル <i>Codium fragile</i>
30		ホンダワラ科	アカモク <i>Sargassum horneri</i>
31		ホンダワラ科	マメタワラ <i>Sargassum piluliferum</i>
32		ホンダワラ科	ヨレモク <i>Sargassum siliquastrum</i>
33		ホンダワラ科	ノコギリモク <i>Sargassum macrocarpum</i>
34		ホンダワラ科	ヒジキ <i>Sargassum fusiforme</i>
35		ホンダワラ科	オオバモク <i>Sargassum ringgoldianum</i>
36		ホンダワラ科	オオバノコギリモク <i>Sargassum giganteifolium</i>
37		コンブ科	アラメ <i>Eisenia bicyclis</i>
38		コンブ科	カジメ <i>Ecklonia cava</i>
39		ケヤリモ科	イチメガサ <i>Carpomitra costata</i>
40		テングサ科	マクサ <i>Gelidium elegans</i>
41		ムカデノリ科	スジムカデ <i>Grateloupia ramosissima</i>
42		ユカリ科	ユカリ <i>Plocamium telfairiae</i>
43		ムカデノリ科	ツノムカデ <i>Grateloupia cornea</i>
44		ツカサノリ科	ヒロハノトサカモドキ <i>Callophyllis crispata</i>
45		ムカデノリ科	ヒチリメン <i>Grateloupia sparsa</i>
46	貝類	ヨメガカサガイ科	ヨメガカサ <i>Cellana toreuma</i>
47		ヨメガカサガイ科	ベッコウガサ <i>Cellana grata</i>
48		ヨメガカサガイ科	マツバガイ <i>Cellana nigrolineata</i>
49		ユキノカサガイ科	コガモガイ <i>Lottia kogamogai</i>
50		スカシガイ科	クズヤガイ <i>Diodora sieboldii</i>
51		スカシガイ科	テンガイ <i>Diodora quadriradiatus</i>
52		ニシキウスガイ科	アシヤガイ <i>Granata lyrata</i>
53		ニシキウスガイ科	イシダタミ <i>Monodonta confusa</i>
54		ニシキウスガイ科	ダンベイキサゴ <i>Umbonium giganteum</i>
55		ニシキウスガイ科	キサゴ <i>Umbonium costatum</i>
56		ニシキウスガイ科	クマノコガイ <i>Chlorostoma xanthostigma</i>
57		ニシキウスガイ科	エビスガイ <i>Calliostoma unicum</i>
58		ニシキウスガイ科	クボガイ <i>Chlorostoma lischkei</i>
59		ニシキウスガイ科	ウズイチモンジ <i>Trochus rota</i>
60		ニシキウスガイ科	クビレクロツケ <i>Monodonta perplexa perplexa</i>
61		ニシキウスガイ科	バテイラ <i>Omphalius pfeifferi pfeifferi</i>
62		ウミナナ科	ウミナナ <i>Batillaria multiformis</i>
63		カリバガサ科	アワブネガイ <i>Crepidula grayispinosus</i>
64		カリバガサ科	シマノウフネガイ <i>Crepidula onyx</i>
65		タカラガイ科	オミナエシダカラ <i>Cypraea bovinii</i>
66		タカラガイ科	クロダカラ <i>Cypraea listeri</i>
67		タカラガイ科	チャイロキヌタ <i>Cypraea artuffeli</i>

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

展示ブロック順	科名	種名	学名	
68	タカラガイ科	ハツユキダカラ	<i>Cypraea miliaris</i>	
69	タカラガイ科	メダカラ	<i>Cypraea gracilis</i>	
70	タカラガイ科	ナツメモドキ	<i>Cypraea errones</i>	
71	タカラガイ科	ハナマルユキ	<i>Cypraea caputserpentis</i>	
72	タマガイ科	ツツミガイ	<i>Sinum planulatum</i>	
73	タマガイ科	ツメタガイ	<i>Glossaulax didyma</i>	
74	タマガイ科	ネコガイ	<i>Eunaticina papilla</i>	
75	トウカムリ科	カズラガイ	<i>Phalium flammiferum</i>	
76	フジツガイ科	カコボラ	<i>Cymatium parthenopeum</i>	
77	イトカケガイ科	ネジガイ	<i>Gyroscala lamellosa</i>	
78	アッキガイ科	イボニシ	<i>Thais clavigera</i>	
79	アッキガイ科	ヒメヨウラク	<i>Ergalatax contractus</i>	
80	アッキガイ科	レイシガイ	<i>Thais bronni</i>	
81	アッキガイ科	レイシダマシ	<i>Morula granulata</i>	
82	アッキガイ科	クリフレイシ	<i>Thais luteostoma</i>	
83	フトコロガイ科	ボサツガイ	<i>Anachis misera misera</i>	
84	フトコロガイ科	ムギガイ	<i>Mitrella bicincta</i>	
85	ムシロガイ科	ムシロガイ	<i>Niotha livescens</i>	
86	マクラガイ科	ホタルガイ	<i>Olivella japonica</i>	
87	コロモガイ科	コロモガイ	<i>Cancellaria spengleriana</i>	
88	タケノコガイ科	ヒメトクサ	<i>Brevimyurella japonica</i>	
89	タケノコガイ科	シラネタケ	<i>Hastulopsis melanacme</i>	
90	カラマツガイ科	キクノハナガイ	<i>Siphonaria sirius</i>	
91	カラマツガイ科	カラマツガイ	<i>Siphonaria japonica</i>	
92	フネガイ科	エガイ	<i>Barbatia lima</i>	
93	フネガイ科	サトウガイ	<i>Scapharca satowi</i>	
94	フネガイ科	サルボウガイ	<i>Scapharca kagoshimensis</i>	
95	フネガイ科	カリガネエガイ	<i>Barbatia virescens</i>	
96	タマキガイ科	ベンケイガイ	<i>Glycymeris albolineata</i>	
97	タマキガイ科	ミタマキガイ	<i>Glycymeris imperialis</i>	
98	タマキガイ科	シンクロセウチワ	<i>Tucetona sinkurosensis</i>	
99	イガイ科	ヒバリガイ	<i>Modiolus nipponicus</i>	
100	イガイ科	ミドリイガイ	<i>Perna viridis</i>	
101	イガイ科	ムラサキイガイ	<i>Mytilus galloprovincialis</i>	
102	イガイ科	ホトトギスガイ	<i>Musculista senhousia</i>	
103	イタヤガイ科	イタヤガイ	<i>Pecten albicans</i>	
104	ウミギク科	チリボタン	<i>Spondylus cruentus</i>	
105	ナミマガシワ科	ナミマガシワ	<i>Anomia chinensis</i>	
106	イタボガキ科	イワガキ	<i>Crassostrea nippona</i>	
107	イタボガキ科	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	
108	フタバシラガイ科	ヤエウメ	<i>Phlyctiderma japonicum</i>	
109	トマヤガイ科	トマヤガイ	<i>Cardita leana</i>	
110	バカガイ科	チヨノハナガイ	<i>Raetellops pulchellus</i>	
111	バカガイ科	バカガイ	<i>Mactra chinensis</i>	
112	フシノハナガイ科	フシノハナガイ	<i>Chion semigranosa</i>	
113	ニッコウガイ科	カバザクラ	<i>Nitidotellina iridella</i>	
114	ニッコウガイ科	サクラガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i>	
115	シオサザナミ科	イソシジミ	<i>Nattalia japonica</i>	
116	マルスタレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	
117	マルスタレガイ科	チョウセンハマグリ	<i>Meretrix lamarckii</i>	
118	マルスタレガイ科	コタマガイ	<i>Gomphina melanegis</i>	
119	マルスタレガイ科	ウスレガイ	<i>Cyclosunetta menstrualis</i>	
120	クチベニガイ科	クチベニガイ	<i>Solidicorbula erythrodon</i>	
121	甲殻類	スナガニ科	スナガニ	<i>Ocypode stimpsoni</i>
122		ガザミ科	タイワンガザミ	<i>Portunus pelagicus</i>
123		ガザミ科	イシガニ	<i>Charybdis japonica</i>
124		モクズガニ科	イソガニ	<i>Hemigrapsus sanguineus</i>
125		ベンケイガニ科	アカテガニ	<i>Chiromantes haematocheir</i>
126		キンセンガニ科	キンセンガニ	<i>Matuta victor</i>
127		フジツボ科	オオアカフジツボ	<i>Megabalanus volcano</i>
128		エボシガイ科	エボシガイ	<i>Lepas anatifera</i>
129		ヨコエビ亜目	ヨコエビの一種	<i>Gammaridea</i> sp.
130		フナムシ科	フナムシ	<i>Ligia exotica</i>
131		スナガニの巣穴型取り標本		
132	鳥類	カイツブリ科	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>
133		ウ科	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

展示ブロック順	科名	種名	学名	
134	サギ科	コイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	
135	カモ科	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i> Linnaeus	
136	カモ科	コガモ	<i>Anas crecca</i>	
137	タカ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	
138	タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i>	
139	タカ科	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	
140	クイナ科	オオバン	<i>Fulica atra</i>	
141	チドリ科	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	
142	チドリ科	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	
143	シギ科	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	
144	シギ科	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	
145	シギ科	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	
146	シギ科	ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>	
147	シギ科	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	
148	シギ科	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	
149	シギ科	キアシシギ	<i>Tringa brevipes</i>	
150	カモメ科	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	
151	カモメ科	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	
152	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	
153	ハト科	アオバト	<i>Sphenurus sieboldii</i>	
154	カワセミ科	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	
155	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	
156	キツツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	
157	ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	
158	モズ科	モズ (オス)	<i>Lanius bucephalus</i>	
159	セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba lugens</i>	
160	セキレイ科	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	
161	ヒタキ科	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	
162	ヒタキ科	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	
163	ヒタキ科	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	
164	ヒタキ科	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>	
165	ヒタキ科	マミチャジナイ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	
166	ヒタキ科	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	
167	ヒタキ科	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	
168	ヒタキ科	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	
169	ヒタキ科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	
170	シジュウカラ科	シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	
171	シジュウカラ科	ヤマガラ	<i>Parus varius</i>	
172	エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	
173	メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	
174	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	
175	アトリ科	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>	
176	ムクドリ科	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>	
177	ハタオリドリ科	スズメ	<i>Passer montanus</i>	
178	カラス科	オナガ	<i>Cyanopica cyana</i>	
179	カラス科	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	
180	カラス科	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	
181	哺乳類	イヌ科	ホンドタヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>
182		ジャコウネコ科	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>
183	軟体動物	アメフラシ科	アメフラシ	<i>Aplysia krodai</i>
184		ウミサボテン科	ウミサボテン	<i>Cavemularia obesa</i>
185	魚類	ウナギ科	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>
186		ニシン科	サッパ	<i>Sardinella zunasi</i>
187		カタクチイワシ科	カタクチイワシ	<i>Engraulis japonicus</i>
188		ボラ科	コボラ	<i>Chelon macrolepis</i>
189		ボラ科	ボラ	<i>Mugil cephalus</i>
190		ヒイラギ科	ヒイラギ	<i>Leiognathus nuchalis</i>
191		ハゼ科	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>
192		フグ科	キタマクラ	<i>Canthigaster rivulata</i>
193	昆虫	ハサミムシ科	ハマベハサミムシ	<i>Anisobabis maritima</i>
194		オオハサミムシ科	オオハサミムシ	<i>Labidura riparia japonica</i>
195		オオメナガカメムシ科	ヒメオオメカメムシ	<i>Geocoris proteus</i>
196		ツチカメムシ科	ハマベツチカメムシ	<i>Byrsinus varians</i>
197		コバナナガカメムシ科	コバナナガカメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>
198		アオバハゴロモ科	トビイロハゴロモ	<i>Mimophantia maritima</i>
199		ウスバカゲロウ科	コカスリウスバカゲロウ	<i>Distoleon contubernalis</i>
200		ウスバカゲロウ科	クロコウスバカゲロウ	<i>Myrmeleon bore</i>

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。

茅ヶ崎の海岸のいきものたち
展示資料目録

2016.2.6

展示ブロック順	科名	種名	学名
201	オサムシ科	ナガヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites terricola</i>
202	オサムシ科	ホソヒョウタンゴミムシ	<i>Scarites acutidens</i>
203	オサムシ科	オサムシモドキ	<i>Craspedonotus tibialis</i>
204	オサムシ科	ミズキワゴミムシの仲間	Bembidiinae sp.
205	オサムシ科	ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>
206	オサムシ科	キイロチビゴモクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>
207	ガムシ科	コケシガムシ	<i>Cercyon aptus</i>
208	ガムシ科	フチトリケシガムシ	<i>Cercyon dux</i>
209	エンマムシ科	ルリエンマムシ	<i>Saprinus splendens</i>
210	エンマムシ科	ハマベエンマムシ	<i>Hypocaccus varians</i>
211	エンマムシ科	ヒメツヤエンマムシ	<i>Hister simplicisternus</i>
212	ハネカクシ科	ツヤウミベハネカクシ	<i>Philonthus nudus</i>
213	ハネカクシ科	アバタウミベハネカクシ	<i>Cafius vestitus</i>
214	ハネカクシ科	アカウミベハネカクシ	<i>Cafius rufescens</i>
215	ハネカクシ科	ホソウミベハネカクシ	<i>Cafius algarum</i>
216	ハネカクシ科	オオハネカクシ	<i>Creophilus maxillosus</i>
217	ハネカクシ科	ウスアカヒゲフトハネカクシ	<i>Aleochara puberula</i>
218	ハネカクシ科	フタモンヒゲフトハネカクシ	<i>Aleochara bipustulata</i>
219	ハネカクシ科	ツヤケシヒゲフトハネカクシ	<i>Aleochara fucicola</i>
220	ジョウカイモドキ科	クロキオビジョウカイモドキ	<i>Laius niponicus</i>
221	ゴミムシダマシ科	ハマヒョウタンゴミムシダマシ	<i>Idisia ornata</i>
222	ゴミムシダマシ科	ニセハマヒョウタンゴミムシダマシ	<i>Idisia vestita</i>
223	コメツキムシ科	アカアシコハナコメツキ	<i>Paracardiophorus sequens sequens</i>
224	ゴミムシダマシ科	オオスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum pubens</i>
225	ゴミムシダマシ科	カクスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum recticollis</i>
226	ゴミムシダマシ科	スナゴミムシダマシsp.	<i>Gonocephalum sp.</i>
227	ゴミムシダマシ科	マルチビゴミムシダマシ	<i>Caedius marinus</i>
228	ゴミムシダマシ科	ヒメホソハマベゴミムシダマシ	<i>Micropedinus pallidipennis</i>
229	ゴミムシダマシ科	クロズハマベゴミムシダマシ	<i>Epiphaleria atriceps</i>
230	アリモドキ科	クロチビアリモドキ	<i>Anthicomorphus niponicus niponicus</i>
231	アリモドキ科	クロホソアリモドキ	<i>Anthicus baicalicus</i>
232	マメゾウムシ科	クロマメゾウムシ	<i>Bruchus loti</i>
233	オトシブミ科	シリプトチョッキリ	<i>Chokkirius truncatus</i>
234	ゾウムシ科	トビイロヒョウタンゾウムシ	<i>Scepticus uniformis</i>
235	ゾウムシ科	ケチビコフキゾウムシ	<i>Sitona hispidulus</i>
236	ツチバチ科	オオモンツチバチ	<i>Scolia histrionica japonica</i>
237	クモバチ科	アカゴシベッコウ	<i>Anoplius reflexus</i>
238	ケラトリバチ科	コオロギバチsp.	<i>Liris sp.</i>
239	アナバチ科	ヌカダカアナバチ	<i>Tachysphex japonicus</i>
240	フシダカバチ科	キスジツチスガリ	<i>Cerceris arenaria yanoi</i>
241	ハキリバチ科	キヌゲハキリバチ	<i>Megachile kobensis</i>
242	ハエトリグモ科	ハエトリグモの仲間	Salticidae spp.
243	ツルギアブ科	シロツルギアブ	<i>Spiriverpa argentata</i>
244	キモグリバエ科	キモグリバエ科sp.	Chloropidae sp.
245	ハナバエ科	ツマグロイソバエ	<i>Fucellia apicalis</i>
246	ニクバエ科	ハマベニクバエ	<i>Sarcophaga alba</i>
247	ハマベバエ科	ハマベバエ	<i>Coelopa frigida</i>
248	ハエ目の一種	ハエ目の一種	Diptera sp.
249	アゲハチョウ科	キアゲハ	<i>Papilio machaon</i>
250	ウスバカゲロウ科	ホシウスバカゲロウ	<i>Glenuroides japonicus</i>
251	ウスバカゲロウ科	モイワウスバカゲロウ	<i>Epacanthaclisis moiwana</i>
252	ウスバカゲロウ科	ウスバカゲロウ	<i>Baliga micans</i>

※実際の展示と一部異なる場合がございますことご了承ください。